

## 令和4年度 小学部経営重点事項

子どもが自分の力を発揮し、生き生きと生活する小学部  
 (教員が自分の力を発揮し、生き生きと生活する小学部)

上記学部経営方針にむけて、学部経営重点事項を以下5点に設定する。

重点事項	目標	具体的内容
①指導支援の充実	一人一人の児童が自分の力を発揮し、生き生きと活躍する授業を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○<u>児童の実態や教育的ニーズを的確に把握し、目標設定シートによる実態に応じた根拠のある目標を設定し、目標にせまる学習内容や手だての中で、評価・改善を繰り返していくことで、一人一人の児童が自分の力を発揮し、生き生きと活動できる授業実践を行う。</u></li> <li>○生活に即した学習や体験的な学習を大切にし、学んだことを日々の生活や将来の生活に生かせるようにする。</li> <li>○合同の学習（特別活動、合同生活・体育・音楽）では、異学年、異学級の友だちや先生との関わりを大切にし、積極的にかかわりをもてる活動を設定する。</li> <li>○<u>前年度までの取り組みを踏まえ、各クラスの指導内容の共通理解を図りながら、低・中・高学年の生活年齢に応じた段階性ある取り組みを計画・実施する。</u></li> </ul>
②安全で安心して生活できる教育環境づくり	児童が安全に、安心して生き生きと生活できるよう、教育環境を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童の動きを想定しながら、日常的に安全の点検を行い、問題点は速やかに報告し、<u>確認・改善</u>する。</li> <li>○丁寧な言葉遣いで指導することを基本とし、児童が安心して生活できるようにする。</li> <li>○児童が怪我をしたときや具合の悪い時などは、担任・養護教諭・管理職（主事または副校長）の3名により、状況（怪我の程度・原因・場所・時間等）の的確な共通把握を行い、最も慎重な判断に従って対応する。</li> </ul>
③実践的指導力の向上	個々の教員や学部としての、特別支援教育の専門性や指導力を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成29年4月告示の「特別支援学校学習指導要領」に応じた教育ができるように、教科別の指導や各教科等を合わせた指導は、扱う内容や目標を明確にして実践を行う。</li> <li>○<u>小学部としての一貫性、系統性のある授業を行うために、これまでの取り組みを整理しながら、活動の計画をたてる</u></li> <li>○個々の研究時間の確保、専門性の向上を図る。</li> </ul>
④教員間・家庭との連携	教員間・保護者と必要な連携を確実にし、共通理解の基に教育活動を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童の実態や成果、課題などの情報を教員間で共有し、学部教員全員で児童の理解に努め、共通理解をもって指導する。</li> <li>○報告・連絡・相談の徹底を図り、児童に関する困難な</li> </ul>

		<p>事案や課題は一人で抱え込まずに、協力してチームとして教育実践を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○個別の面談、保護者会、授業参観等の機会を通して<u>細やかなコミュニケーション</u>を図り、児童の成長や課題など、児童にとって大切な情報を共有し、保護者との共通理解を基に教育活動を行う。</li> <li>○登下校時の保護者との連絡は、健康や安全面の連絡、必要な事務連絡、著しく成長した新たな事項等、内容を精選して伝える。</li> </ul>
<p>⑤働き方の見直しと効果的な教育活動の推進</p>	<p>勤務時間を意識しながらも、子供に向き合う時間の確保と質を高め、生き生きと働くことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○<u>教員一人一人が勤務時間・超過勤務を意識した業務精選・効率化に向けて努める。業務量によっては相談しながら分担を行う。</u></li> <li>○主に会議、学部行事、<u>分掌業務等の効率化・簡素化</u>を図ったり、<u>教材づくり・環境整備等</u>において講師や担任外教員の協力を仰いだりしながら、授業を中心とした教育活動に時間をとれるようにする。</li> <li>○保護者説明を正しく行い、周知・共有していくことで、理解を促す。</li> </ul>